

「外国人という条件」を超えて フランス語と文学の越境

金沢大学人間社会研究域人文学系教授
岩津 航

日時：6月24日（水）16：30～18：30
場所：富山大学人文学部1階大会議室

複数の言語を話すというのは、どういうことなのか。
外国語を母語とする作家によるフランス語文学には、
どんな意義があるのか。

日本生まれのケベック作家ウーク・チャング、
ルーマニア出身の詩人バンジャマン・フォンダーヌ、
ポーランドの亡命知識人ユゼフ・チャプスキ、ロシア
生まれのゴンクール賞作家ロマン・ガリの例を通じて、
越境する文学者がわたしたちに問いかけるものについて
考えます。

会場にお越しの方は予約不要。
どなたでもご参加いただけます。
Zoom ミーティング併用のハイブリッド形式です。
オンライン参加の方のみ6月23日（火）までに、
右のQRコードより参加登録をお願いします。
Zoom用URLをお送りします。



問い合わせ先：富山大学人文学部中島研究室
toshie@hmt.u-toyama.ac.jp